

# Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



世界へのプレゼントになろう

No.53-27 第2554回 例会2016年1月21日 (木)

## 卓 話

会長 茂木 正 会長エレクト 中島高夫  
副会長 八木茂幸 五十嵐敦子 岡岸正美 幹事 金子 章  
2015 ~ 16 年度国際ロータリー会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン  
第 2570 地区ガバナー 高柳育行

進行: SAA 野田貞之

点鐘: 12:30 茂木 正 会長

ソング: それでこそロータリー

### 会長の時間

茂木 正 会長



先週末の久しぶりの積雪と、昨日の雪には驚かされましたが、今週末また雪の心配がされています。しかし心配しても何ともなりません、冬は雪が降る寒い！当然です。夏になれば暑い！こうした季節や世の移り変わりに対応して行こうとすることこそが大切な事の様です。

私どもは経営者として、また大勢の人生を預かる者としてそうした事に対応してゆかねばなりません。自然はともかくとして働いている者に給料を払ってやればそれでいいと云う事ではないと思っています。せっかく頂いたこの世への招待です、大切な時間を共有する仲間として社員も、そしてもちろんロータリークラブのお仲間もこの与えられた時間を大切にしてゆきたいと願っています。

私達は日々の暮らしの中で、大変だとかもっと豊かになりたいとかいろいろ自分の想いを実現するべく活動しておりますが、たった70年前の若い人々は兵役という自分ではどうにもできない規制がありました。国の為に尽くすという事も、軍隊の存在も否定するものではありませんが、そこで正しく國の為に亡くなつて行かれた多くの方々を放つておくことは許されることではありません。

しかしながら今の日本はどうでしょうか？戦争には触れない、軍隊は悪い事！こうした教育の在り方が、大切にしてくれた祖父母をその手で殺してしまうとか、自分の子供を殺すなどと言った人間を創っていることに他なりません。戦争行為が悪いことは決まっていますが、私達の為に亡くなられた先人に想いを馳せる事、お遺骨と一緒にその想いを繋ぐ事、それこそは私

の望むことです。

そういう意味でも今日は、笛幸恵先生をお招きさせて頂きました。ご存知の方がいらっしゃるかもしれません、去る8月27日に行われました横須賀海上自衛隊地方総監部での『いずも』見学の労を取って頂いた方です。また先生は南太平洋の島々でお遺骨の収容を初め、慰霊活動の執筆、講演活動に奔走されています。今日は短い時間ではありますが、こうした活動とその想いを皆様に講演して頂きたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

今の冬一番の寒さの中、出席いただきました会員皆様ありがとうございました。

### 幹事報告

金子 章 幹事



- 1、Rコーディネーターニュース2月号が届いております。
- 2、地区より地区大会での選挙人の選出の案内が届いております。当クラブは3票の投票権があります。
- 3、先週もお伝えした様に今月は会納入月です。宜しくご手配下さい。
- 4、2/21に行われる米山記念奨学生修了式と歓送会の案内が届いております。
- 5、バギオ便り52号が届いております。
- 6、地区より青少年交換の第7回オリエンテーションの案内が届いております。
- 7、ハイライトよねやま190号が届いております。
- 8、青少年交換留学生の報告書が届いております。
- 9、2/19第4グループ第5回会長幹事会が開催されます。

## 新会員入会式



卓話 ジャーナリスト 笹 幸恵 様



### 戦後70年にあたって思うこと

戦後三十年も経ってからこの世に生を享けた若輩だが、私は祖父母の世代が戦った大東亜戦争に関心を抱き、この十数年、かつての戦地をあちこち巡っては戦史をひもとき、また戦争経験者へのインタビューを繰り返してきた。訪れたかつての戦地は、十数か所にのぼる。

今年は日本が敗戦を迎えてから70年になる。当時を語ることのできる人も少なくなってしまった。

今後の日本の行く末をあやまらないためにも「戦争のなかにおける自己の客観化」を始めなければならない。私は、見たいものしか見ない眼鏡を外し、まずは虚心坦懐に歴史を学ぶことだと思っている。数少なくなった戦争経験者の体験に真摯に耳を傾けることである。自分にとって都合の良いことも悪いことも、いったんはすべて呑み込む。そのうえで、「自分だったらどうしていたか」と、我が身に引き付けて考えてみることである。またなぜそうなったのか、検証を繰り返していくことである。そうして「愚行のあやまち」を直視したならば、そこから教訓も見えてくるはずだ。

あの戦争とは何だったのか。日本に何をもたらしたのか。そして命を賭して戦った先人達は、どんな日本を守ろうとしたのか。それを考えることこそ、英靈に報いる唯一の方法である。

## 出席率報告

会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
78	9名	69名	38名	55%

## ニコニコBOX報告

「ジャーナリスト 笹 幸恵様 本日の卓話よろしくお願ひ致します。」

茂木 正 金子 章 渋谷修身 井田正志  
下山正男 春山茂之 関根 貢 福島文江  
萩原達夫 今井喜彦 中島高夫 矢島淳一  
浅香 匡 八木茂幸 渋澤健司 五十嵐敦子  
加藤玄静

織田裕之

「高橋、武政さんご入会おめでとうございます。」

佐藤賀則

「高橋、武政さんご入会おめでとうございます。」

## 次回プログラム発表

1月28日(木) 第4例会 18:30~  
移動、夜間例会 味どうらく長

## 広報雑誌委員会 山田喜一・浅香 匡・梅村孝雄・福島正美

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号  
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1  
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄  
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>